



環境学習教材、クリティカルシンキング教材、モラルシンキング教材などの開発・効果測定

キーワード 環境教育、ESD、クリティカルシンキング、モラルシンキング

研究内容

SDGsの策定に先立って進められてきたESD（持続可能な開発のための教育）では、従来の環境教育とは一線を画し、育成したい7つの能力態度が明示されています。その第一として、合理的で偏りのない考え方である「クリティカルシンキング」が掲げられています。

クリティカルシンキングについて大規模な質問紙調査を実施し、探索的因子分析によって明らかになった因子構造に基づきワークブック集を作成しました。加えて、従来は情動面から扱われる傾向にあった「道徳」が、2018年から「考え、議論する道徳の授業」と提唱されたことに注目し、クリティカルシンキングを核とした「思考」の側面からとらえる「モラルシンキング」の概念を構築しました。モラルシンキングワークブック集も開発しました。



環境学習講座用教材「絵本ノート」シリーズ



クリティカルシンキング教材、モラルシンキング教材シリーズ

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・ 科研費 23501099「クリティカルシンキング育成のための学習ツール開発」2011～2013
- ・ 科研費 17K01091「クリティカルシンキングを核とした“モラルシンキング”の構築」2017～2019
- ・ 作成HP 「錯思コレクション100」2020
https://www.jumonji-u.ac.jp/sscs/ikeda/cognitive_bias/
- ・ 東京都北区環境課「北区環境大学事業における環境学習カリキュラム等の開発研究及び事業実施委託」2012～2020

社会連携・産学連携の可能性

自己理解と他者理解を導く「推論力」を高める子ども向け思考トレーニングとして、環境教育、道徳教育、海洋教育、理科教育、教科間教育などさまざまな場面で活用できます。また、教員研修や一般向け講習に加え、事業者による教育を通じたCSR活動へも転用できます。